



CHAPTER 2

XML サーバの設定

この章では、XML サーバを設定する方法について説明します。次の項目を取り上げます。

- 「許容されるセッション数の設定」(P.2-1)
- 「セッション タイムアウト時間の設定」(P.2-2)
- 「サーバセッションの終了」(P.2-4)
- 「デフォルト設定」(P.2-4)
- 「その他の関連資料」(P.2-5)

許容されるセッション数の設定

XML サーバで許容される同時セッションの最大数を設定するには、次の手順を実行します。

はじめる前に

この手順を開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- EXEC モードで CLI にログインしていること。
- XML サーバでは 1 ～ 8 の最大同時セッションを許可できること。デフォルトは 8 です。

手順の概要

1. (任意) `show xml server status`
2. `config t`
3. `xml server max-session sessions`
4. (任意) `show xml server status`
5. (任意) `copy running-config startup-config`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	show xml server status 例: switch# show xml server status operational status is enabled maximum session configured is 8	(任意) XML サーバ設定およびアクティブなすべての XML サーバセッションに関する情報を表示します。
ステップ 2	config t 例: switch# config t switch(config)#	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	xml server max-session sessions 例: switch(config)# xml server max-session 6	許容される XML サーバのセッション数を設定します。デフォルトは 8 です。指定できる範囲は 1 ~ 8 です。
ステップ 4	show xml server status 例: switch(config)# show xml server status	(任意) XML サーバ設定およびアクティブな XML サーバセッションに関する情報を表示します。
ステップ 5	copy running-config startup-config 例: switch(config)# copy running-config startup-config [#####] 100% n1000v(config)#	(任意) リブート後に永続的な実行コンフィギュレーションを保存し、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーして再起動します。

セッションタイムアウト時間の設定

XML サーバの非アクティブセッションのタイムアウト時間を設定するには、次の手順を実行します。

はじめる前に

この手順を開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- EXEC モードで CLI にログインしていること。
- 非アクティブなセッションのタイムアウト時間は 0 ~ 1200 秒の間で設定できます。

手順の概要

1. **config t**
2. **xml server timeout seconds**
3. (任意) **copy running-config startup-config**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	config t 例: <pre>switch# config t switch(config)#</pre>	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	xml server timeout <i>seconds</i> 例: <pre>switch(config)# xml server timeout 1200 switch(config)#</pre>	非アクティブな XML サーバセッションを終了するまでに待機する秒数を設定します。許可範囲は 0 ～ 1200 秒です。
ステップ 3	copy running-config startup-config 例: <pre>switch(config)# copy running-config startup-config [#####] 100% n1000v(config)#</pre>	(任意) リブート後に永続的な実行コンフィギュレーションを保存し、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーして再起動します。

サーバセッションの終了

アクティブな XML サーバセッションを終了するには、次の手順を実行します。

はじめる前に

この手順を開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- EXEC モードで CLI にログインしていること。

手順の概要

1. (任意) `show xml server status`
2. `xml server terminate session`
3. (任意) `show xml server status`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	show xml server status 例: <pre>switch(config)# show xml server status operational status is enabled maximum session configured is 8 switch(config)#</pre>	(任意) XML サーバ設定およびアクティブな XML サーバセッションに関する情報を表示します。
ステップ 2	xml server terminate session 例: <pre>switch(config)# xml server terminate 8665 switch(config)#</pre>	指定した XML サーバセッションを終了します。
ステップ 3	show xml server status 例: <pre>switch(config)# show xml server status</pre>	(任意) XML サーバ設定およびアクティブな XML サーバセッションに関する情報を表示します。セッションが終了したことを確認します。

デフォルト設定

表 2-1 に、XML API のデフォルト設定を示します。

表 2-1 XML API のデフォルト設定

パラメータ	デフォルト
Maximum allowed XML server sessions	8
Active XML server timeout period	1200 秒

その他の関連資料

XML 管理インターフェイスの実装に関する詳細情報については、次の項を参照してください。

- 「標準」 (P.2-5)
- 「RFC」 (P.2-5)

標準

標準	タイトル
この機能でサポートされる新規の標準または変更された標準はありません。また、既存の標準のサポートは変更されていません。	—

RFC

RFC	タイトル
RFC 4741	『 <i>NETCONF Configuration Protocol</i> 』
RFC 4742	『 <i>Using the NETCONF Configuration Protocol over Secure Shell (SSH)</i> 』

